

# 公民連携で東部地域の森づくり

## 4月16日(火)、株式会社平和堂と4者協定締結

市は、東部清掃工場（大字尊延寺 2949 番地）緩衝緑地の広葉樹林化に公民連携で取り組む。社会貢献を希望する企業等と森林所有者を府がマッチングし、放置された人工林や荒廃した森林を整備する「アドプトフォレスト制度」を活用して、食料品や衣料品などを取り扱う株式会社平和堂（滋賀県彦根市）と府、森林整備の技術的助言を行う公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、本市の4者で協定を締結する。4月16日（火）に大阪府公館（大阪府大阪市中央区大手前2-1-46）で調印式が行われる。

- ★ 協定による活動期間は5年間で、場所は市東部清掃工場緩衝緑地約3ヘクタールのうち竹林化している部分。市の担当者は「東部地域は里山が広がり生き物も多い。公民で力を合わせ、健全な森づくりを進めたい」と期待を寄せる。
- ★ 大阪府アドプトフォレスト制度は、社会貢献を希望する企業等と森林所有者を府がマッチングし、放置された人工林や荒廃した森林を整備するもの。事業者は植栽や間伐など、広葉樹林化に関わることで社会的貢献活動に寄与することができる。
- ★ 大阪府の森林面積は約5万5000ヘクタールで、府域のおよそ3分の1を占める。森林は生物多様性の保全や地球温暖化防止など多様な役割を担う貴重な環境資源だが、管理されず竹林が拡大し、荒廃しているケースが増えている。広葉樹林化のメリットとして、管理費削減や生物多様性などが挙げられる。
- ★ 調印式  
4月16日（火）午後3時、大阪府公館（大阪府大阪市中央区大手前2-1-46）  
調印者は株式会社平和堂サステナビリティ推進室長＝鷗鷗（ささき）真知子、大阪府副知事＝森岡武一、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会会長＝石井実、枚方市長＝伏見隆

<お問い合わせ>

環境部 東部資源循環センター ☎072-858-6962 FAX072-858-6964